



令和3年度末人事異動における富高転入職員から富高生へのメッセージ

「富高の未来」

教頭 塚本 延之（藤岡中央高校定時制より）

先日の新任式でもお話ししましたが、約20年ぶりの富高赴任ということで、さまざまな場面で当時と比較している自分がいます。共学となり市内唯一の普通科となった新しい富高も、統合5年目を迎え、いよいよその立ち位置が本格的に定まる時です。社会の急速な変化が人口減少を伴って進む中、みなさんひとり一人がこの学校の未来を決定づけていくという自負を持って、いろいろなことに取り組んで行って欲しいと思います。

「学力と人間力」

事務長 名古屋 佳弘（群馬県教育委員会福利課より）

生徒の皆さんこんにちは、今年度、群馬県教育委員会福利課から赴任しました事務長の名古屋 佳弘と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆さんは、大学入試に向けて目標が決まっていますか、目標大学に合格するためには「学力」が必要なのは言うまでもありません。自ら学ぶ力、学習量が大きく左右します。

部活動等で時間に余裕がない人は隙間時間などを活用し、効率的な勉強を心がけてください。

また、大学入試に向けてもう1つ大きな力は「人間力」だとも言われています。受験はある意味自分との闘いのように思います。自分を見詰め、自分をコントロールできる力や人の痛みが分かるなどの「人間力」が備わってこそ目標大学合格を含めた自己実現が図れるようです。

生徒の皆さんが、目標大学に合格することを切に願っています。

「ラトビアってどこ」

家庭科 飯塚 知子（安中総合学園高校より）

甥がラトビア人の彼女と結婚して、何年かぶりに帰国し、我が家で年末年始を過ごした。

ちょうど机の上にあった『ちびくろさんぼ』の絵本を手に私は彼女に聞いた。「この絵本知ってる？」すると「私が小さい時まだロシアだったから、物不足で絵本とかなかったんだよね」と彼女は答えた（英語だから多分だけ）。世界情勢とか知らない自分。あー恥ずかしい。知識に年齢は関係ない。富高生にいろいろ教えてもらうことを楽しみにしているし、もう4月から教わっている。ありがとう。

地歴公民科 齊藤英敏（群馬県教育委員会文化財保護課より）

みなさん、こんにちは。11年ぶりに、文化財保護課から学校にもどってきた齊藤英敏です。教科は社会科（地理歴史）です。どうぞよろしくお願いいたします。国宝の富岡製糸場や国の名勝となっている妙義山をはじめ、建物・古墳・天然記念物・民俗など、県内にある文化財の保存と活用についての仕事をしていたので、興味のある人は何でも聞いてください。

富岡高校は、加賀百万石の前田家の支藩である旧七日市藩の陣屋跡にあり、御殿と黒門が国登録文化財になっています。江戸時代の藩邸建物としては、県内唯一の建築物です。伝統を引継ぐ富高生として誇りを持って、一日一日を大切にしながら、成長していきましょう。

「前向きに」

理科 齊藤敬一（前橋南高校より）

今年度、前橋南高校から赴任しました齊藤敬一です。教科は理科で専門は化学です。私は、富岡高校が男子校の時代の昭和63年度から10年間お世話になりました。まだ若かったので、楽しかった思い出がたくさんあります。先日、妙義ウオークがありましたが、私が赴任した時は、夜間耐寒歩行（夜間を通じ妙義神社など一帯を踏破する）が実施されていました。年をとっているため新しい環境下でこれからやっていけるのか不安ですが、毎日、自分に「前向きにがんばろう」と言い聞かせています。今後ともよろしくお願いいたします。

「人生は自分で楽しくするものだ」

理科 大倉 史也(伊勢崎工業高校より)

いきなりですが、皆さんにとって「楽しさ」とは人から与えられるものでしょうか？与えるものでしょうか？それとも、その辺に落ちているものですか？『鬼滅の刃』で「生殺与奪の権を他人に握らせるな」という台詞がありますが、「人生を楽しむこと」についてもまさにそうだと思います。自分でその時間やその場を充実した時間にしようとしていますか？どうせ過ごさなければならない毎日、自分で楽しいものにしていきましょう。そして、一緒に学校生活を充実したものにしていきましょう。

「選ぶということ」

国語科 松本侑馬(万場高校より)

この度万場高校から異動して参りました、松本侑馬と申します。教科は国語です。よろしくお願いします。
皆さんは何かを選ぶとき、サクッと決められますか？それとも悩んでしまいますか？選ぶというのは、同時に他の選択肢を捨てるということ。だから選ぶのって難しい。でも、動かずにいると、結局何も手に入りません。
進路でも何でも、よく考えて、必ず何かを得られるように、まずは行動してみてください。後悔のない高校生活を！

「自分の決めた道を突き進むための準備をする」

地歴公民科 田中 佑季(新採用)

新型コロナウイルス感染症によって世間ではさまざまな制約を受けています。また、世界情勢は非常に緊迫した状況となっています。自分の思うことを存分に発揮したり、行動したりすることができないと感じる人々が多くいる中で、皆さん自身は「できなかった」の一言で終わるのはもったいないことです。自分の決めた道を突き進みたいと決めたときから高校生活で学んだことや考えたことが武器となり、自己実現につながっていきます。今はその準備をしていきましょう。

「メリハリ」のある生活を送ろう！」

養護教諭 藤原 しのぶ(富岡実業高校より)

赴任して1ヶ月が過ぎ、授業中(保健室から見えるのは主に3年生ですが)や部活動など、富高生の何事にも一生懸命に取り組む姿勢に日々感心しています。充実した毎日を送るためには、「メリハリ」が大切です。集中して頑張る時間と力を抜いて休む時間をはっきりさせましょう。頑張りすぎても良い結果にはつながりません。自分の力を最大限発揮するためにも心と身体の休息を忘れずに。

皆さんが心も身体も元気に毎日笑顔で過ごせるようサポートしていきたいと思います。よろしくお願いします。

事務 阪居 美来(富岡特別支援学校より)

4月から異動してきました事務の阪居です。
私は事務室にいますので、直接関わる機会は多くないですが、見かけたら声をかけてもらえると嬉しいです。
皆さんは毎日、勉強や部活など忙しいと思いますが、学生のうちにいろいろな経験をしてみてください。
私が学生の時にしてよかったと思ったことはボランティアです。
イベント系のボランティアに参加しましたが、達成感があり視野も広げることができました。将来の就職にも生きるかもしれません。
新しいことに挑戦することは、勇気がいりますが失敗を恐れず、楽しんでいろいろな経験をしてみてください。応援しています！